



## TABLE OF CONTENTS

1. Overview
2. Inputs & Outputs
3. Navigation & Controls
4. Effects & Signal Path
5. Hold Sampler
6. Phrase Looper
7. Saving Presets
8. MIDI
9. Global Configuration
10. Warranty

# 1 | OVERVIEW

Microcosmは様々なグラニューラー・サンプリング、ディレイ、ループテクニックを用いて、サウンドを新しく刺激的な方法で再構成/再解釈します。積み重なるマイクロループはタップテンポのリズムヘタイトに同期させたり、氷河のようなアンビエントテクスチャーに拡散させたり、催眠的なドローンに織り込んだり、さらに多くのことが可能です。

11種類の画期的なエフェクト（計44種類のプリセットバリエーション）により、演奏を音楽的にスライス、ストレッチ、再構成、加工できます。内蔵のピッチモジュレーション、豊かなステレオリバーブ（4モードから選択可能）、レゾナンスローパスフィルターでさらにサウンドを微調整。

他のミュージシャンとの同期に便利なタップテンポ機能を搭載。さらにホールドサンプラーセクションでは音や和音をキャプチャーし、ユニークなハーモニーやドローン効果を生み出せます。

気に入ったサウンドを見つけたら、内蔵ステレオフィーズルーパーで最大60秒間プレイをキャプチャー可能。異なるエフェクトで生成したフレーズを重ねるレイヤリングも実現します。すべてのループ、オーバーダブ、そして設定は16個までのユーザープリセットに保存し、呼び出すことができます。

## FEATURES

- 4つの異なるエフェクトスタイル
- 44のプリセットバリエーション
- 16のユーザープリセット-設定とループの保存
- タップテンポ
- 60秒のPhrase Looper
- 複数のループ再生スピード
- ホールドサンプラー
- エンベロープシェイプの制御
- ステレオリバーブ
- レゾナンスローパスフィルターとピッチモジュレーション
- マッピング可能なエクスプレッション入力
- ループ再生とエフェクトは逆再生可能
- MIDI IN/OUT/Thru
- ステレオ入力/出力

# 2 | INPUTS & OUTPUTS

## CONNECTIONS

モノラル/ステレオTRS入力、出力L、出力R、EXP IN, MIDI IN, MIDI Out/Thru, 9VDC

## 9V POWER INPUT

9V  
2.1mmコネクタ、センターマイナス  
400mA以上

このペダルはスタンダードな2.1mm 9VDCセンターマイナス電源で動作します。最良の結果にはアイソレートされたパワーサプライを使用してください。

スイッチング電源またはデジチェーンのパワーサプライはノイズの原因となる可能性があります。Microcosmには最低400mA以上の電源を使用してください。

## 2 | INPUTS & OUTPUTS CONT.

### EXPRESSION PEDAL INPUT

Tip: 0-3v 入力  
Ring: 3v 出力  
Sleeve: 0v 出力  
推奨の抵抗値: >10 kOhm

**制御可能なパラメーター:** Activity, Shape, Filter, Mix, Repeats, Space, or Loop Level

ペダルに電源が入った状態でエクスプレッションペダルをEXPジャックに接続すると、インジケータライトが青色で点滅します。点滅中に、エクスプレッションペダルを割り当てたいコントロールを操作してください。

このエクスプレッションペダルの割り当ては電源を切った後も保持されます。次回以降この手順を省略するには、ペダルの電源を入れる前にエクスプレッションペダルを接続してください。同じ割り当てを維持するには、接続後にインジケータライトが点滅している間はこのコントロールも触れないください。

### AUDIO INPUT / OUTPUT

入力: Mono / Stereo  
インストゥルメント/ラインレベル  
出力: Mono / Stereo  
インストゥルメント/ラインレベル

#### OUTPUT CONFIGURATIONS:

**Mono In/Out:** Microcosmはデフォルトでモノラル信号を受け取る設定です (Global Configurationを参照ください)。スタンダードな楽器ケーブルをMONO/STEREO TRS入力ジャックとOUTPUT Lに接続してください。

**Mono In/Stereo Out:** スタンダードな楽器ケーブルをMONO/STEREO TRS入力ジャックに接続と出力LとRに接続すると、ステレオイメージを形成します。

**Stereo In/ Stereo Out:** Global Configurationメニュー (p45)からステレオ入力のオプションを設定します。MONO STEREO TRSジャックへTRSステレオケーブルを、OUTPUT LとRにはモノラルのケーブルを接続します。

**Stereo In/ Mono Out:** ステレオ信号をSTEREO TRS入力に送る際は、OUTPUT Lのみを使用することでモノラルをサミングします。

#### BYPASS OPTIONS:

**Unbuffered Bypass:** Microcosmがバイパスのときでも楽器入力はバッファードされます。ドライ信号にも一貫したキャラクターを与え、ステレオイメージも保ちます。ペダルをバイパスするとエフェクトもすぐに消えます。

**Buffered Bypass / Trails Mode:** エフェクトとループはバイパス時に自然にフェードアウトします。Microcosmがオンにならない限り新しい入力はエフェクトされません。

**True Bypass Switching:** Microcosmは左と右チャンネルで2つの電子スイッチを使います。これらのスイッチはバッファードとバッファードなしの信号を切り替えます。バイパス時は入力はMicrocosmの影響を受けません。

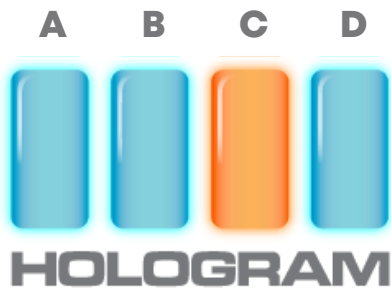
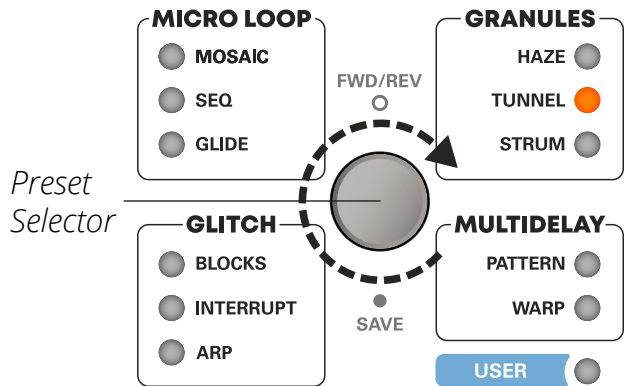
**\*Note:** トレイルモードはTrue Bypassモードでは使用できません (Global Configurationを参照ください)

# 3 | NAVIGATION & CONTROLS

## PRESET SELECTOR

Preset SelectorはMicrocosmのメインのナビゲーション。異なるエフェクトやメニューの行き来に使用します。オレンジのライトが有効なエフェクトを示します。

\*セクターはエフェクトを周回するか、リスト形式でサイクルするかをGlobal Configurationで選択できます。



ここではTunnel Cが選択されています

## INDICATOR LIGHTS

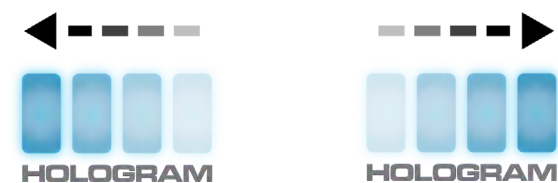
ペダル中央の4つのライトはエフェクトや設定のメニューシステムです。

Preset Selectorを回すとオレンジのカーソルが現在有効なエフェクトの場所を示します。各エフェクトは4つのプリセット (A-D)があります。希望のプリセットスロットにカーソルを置くことで選択します。選択中は周りのバーが動きます。

## PRESET SELECTOR FUNCTIONS

### FWD/REV

Preset Selectorを押すとエフェクトの再生をリバーブします。インジケータのライトが再生方向を表します。



リバーブ  
(左ヘスワイプ)

フォワード  
(右ヘスワイプ)

### SAVING PRESETS

Preset Selectorをホールドすると現在の設定とループをコピーします (Saving Presets参照)

*Phrase Looperの設定とGlobal Configurationモードでは、Preset Selectorを使って選択します。*

### 3 | NAVIGATION & CONTROLS CONT.

## TIME

タイムのサブディビジョンまたはグローバルテンポを設定します。

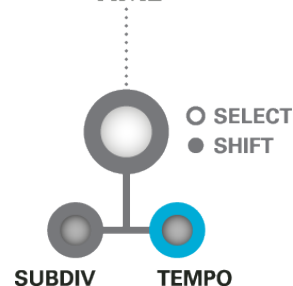
### SELECT (tap) / SHIFT (hold)

ボタンを押すとTimeノブの機能をサブディビジョンとグローバルテンポで切り替えます。ボタン下のライトが現在の設定を示します。

**SUBDIV:** エフェクトの音楽的なサブディビジョンを決定します。

**TEMPO:** Timeノブで全体のテンポを決めます。タップテンポへのマニュアル設定として動作し、テンポのスムーズな加速/減速を可能にします。このモードではエフェクトのサブディビジョンは4分の1にセットされます。

\*Note: Tempoモード中もタップテンポは有効です。



ホールドではこのボタンはシフトキーとして機能し、ノブのセカンダリ機能へアクセスできます。セカンダリ機能は対応するノブで灰色で示されています。

**Phrase Looper:** シフト+Timeノブでルーパーの再生速度を変更できます (Phrase Looperを参照)。



## ACTIVITY

エフェクトの密度を設定。時計回りで複雑さと豊かさを加えていきます。実際の機能はプリセット毎に異なります (Effects参照)。



## REPEATS

エフェクトの長さや頻度を設定。Activityノブと影響しあいます。実際の機能はプリセット毎に異なります (Effects参照)。

**Secondary Control:** ピッチモジュレーションのデプスを設定

ActivityとRepeatsは各プリセット毎に幅広いサウンドオプションを提供するため、同時に作用します。Activityは各プリセットのエフェクトを"増減"させ、Repeatsは作用する時間を決定します。ただし、特定の単一パラメーターを制御するのではなく、RepeatとActivityはいずれも複数の異なるパラメーターを包括する高度なマクロコントロールであり、各エフェクトの制御を手助けするものです。

例えばTunnelバンクのエフェクトでは、Activityはサンプルとフィルターの制御デプス、Repeatはドローンが減衰するまでの時間を設定します。

### 3 | NAVIGATION & CONTROLS CONT.

	Secondary Controls
<b>SHAPE</b> エフェクトのボリュームまたはフィルターのキャラクターに強調を与えます。	ピッチモジュレーションのレート
<b>FILTER</b> ローパスフィルターで高域をカットします。	フィルターのレゾナンスの設定
<b>MIX</b> 入力信号とエフェクトのバランスを設定。	エフェクトのマスターボリュームを設定
<b>SPACE</b> リバーブとディレイをミックスします。時計回し最大で100%ウェット。	長さやキャラクターが異なる1-4のリバーブモードを選択。
<b>LOOP LEVEL</b> Phrase Looperの再生ボリュームをセット。	ループのフェードタイム（フェードの方向はGlobal Configurationを参照ください）

### FOOTSWITCHES

TAP  
REC/PLAY/DUB



**TAP TEMPO:** 左フットスイッチをタップするとエフェクトのテンポを設定します。Microcosmはテンポのタイミングを四分音符でマッチさせます。



**BYPASS:** Microcosmのオンオフを切り替えます。

HOLD  
STOP/ERASE



**HOLD SAMPLER:** 右フットスイッチで現在のプレイの欠片をフリーズし、無限にプレイバックします（Hold Samplerを参照ください）。

#### PHRASE LOOPER



**REC/PLAY/DUB:** 押すと録音、再生、オーバーダブを行います。ホールドでオーバーダブレイヤーを消去します（Phrase Looperを参照）。

\*Phrase Looperを有効するとフットスイッチの機能が変わります

**STOP / ERASE:** 押すとループの再生を停止します。ホールドでループを消去します（Phrase Looper参照）。

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH

Microcosmは4つのカテゴリから11の個性的なエフェクトを提供します。



### MICRO LOOP

異なるスピードで再生されるショートループのレイヤー。組み合わせせて新しいリズムや美しい色彩を形成。



### GRANULES

巨大なアトモスフィアから微妙なテクスチャを生む、サウンドの破片。



### GLITCH

現在のプレイをリアルタイムで再構築し、ランダム、または制御されたインターバルでプレイバック。



### MULTIDELAY

タップ数を選択可能なディレイライン。幅広いリズムカルな要素から、テクスチャ的な演出まで。



**MOSAIC**: 異なるスピードで再生される、オーバーラップするループ。

Activity: 有効なサンプラーの数を設定

- |   |   |
|---|---|
| A | 通常と2倍速の1オクターブアップで再生されるマイクロループ。                      |
| B | 通常と0.5倍速の1オクターブダウンで再生されるループ。                        |
| C | すべてのループが2倍速で再生。                                     |
| D | ループが0.5、通常、2倍、4倍速で再生。1オクターブダウンから2オクターブアップまでサウンドが変化。 |

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



**SEQ:** 短いループサンプルを再配置してリズムカルなシーケンスを構築。



ライブサンプルにシャッフルとフィルターを適用しランダムなリズムへ。  
*Activity:* フィルターのバリエーションを変更



通常と0.5倍速で切り替わるシーケンスされたサンプル。  
*Activity:* 2つの再生スピードの切り替わりを設定。ノブを最大にすると、シーケンスの下でとどまるパッドのような、サスティンされたレイヤーとなります。



フィルタースウィープを適用されたレイヤーのオーバーラップ。  
*Activity:* サンプルのレイヤーを追加



リズムカルなサンプルとビットクラッシャーが連動するレイヤー。  
*Activity:* リズム的な要素のレイヤーを追加。最大ではビットクラッシュしたオクターブ下のサンプルに。



**GLIDE:** 時間とともにピッチが変化する短いループのオーバーラップ。

*Activity:* ピッチシフトのレート

*Shape:* グライドのパターンを選択



0.5倍速と通常の間をグライド



2倍速と0.5倍速の間をグライド



通常と2倍速の間をグライド



同時にそれぞれの方向へグライドするオーバーラップするサンプル

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



**HAZE**: グレインの集合体が濃密なサウンドを形成

*Activity: グレインの密度と広がり具合*

**A**

引き伸ばされオーバーラップするサンプルから生まれる、短く滲んだエフェクト

**B**

同時にランダム化された多数のグレインが、滲んだテクスチャを生む

**C**

通常と倍速のグレインを混ぜ合わせ、拡散したテクスチャ

**D**

通常と0.5倍速のグレインを混ぜ合わせ、拡散したテクスチャ



**TUNNEL**: 循環するマイクロループにモディファイアを組み合わせ、催眠的なドローンを形成

*Activity: 各モディファイアのデプス*

**A**

圧縮、ストレッチされたドローン

**B**

フィルタースウィープを備えるオクターブ下ドローン

**C**

レゾナンスしたバンドパスフィルターを備えるドローン

**D**

ドローンのサンプル長にエンベロープでコンプレッションとタイムストレッチ適用

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



**STRUM**: 直近のプレイをリズムックに連鎖させ、点描的なテクスチャを生む

Activity: リズムパターンの密度

- A** | 最も直近のノートをリピート
- B** | 直近のプレイのコピーが重なり、フェイザー的なエフェクトに。
- C** | 直近のプレイをカスケードされた音像へ
- D** | 直近のプレイの倍速にしながら、カスケードされた音像へ



**BLOCKS**: オーディオの入力でトリガーされる規則的なグリッチまたはランダムな音色の破裂

Activity: サンプルのマニピュレーションとバリエーション

- A** | プレイを再配置し直近のノートのシーケンスされた破裂を付与
- B** | 入力信号を再配置してピッチシフトを適用
- C** | フィルタリングされたサンプルのオーバーラップとフェードアウト。ソフトで柔らかいグリッチサウンド。
- D** | ピッチシフトとビットクラッシュで入力信号を再構築

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



**INTERRUPT** : ドライ信号へ割り込むグリッチ。ピッチシフトの破裂、マイクロモ  
ンタージュ、その他も。

Activity: サンプルの制御とバリエーション

Repeats: グリッチのトリガー頻度

- A** プレイをリアルタイムでグリッチ&再配置し、現在のプレイへ干渉
- B** 複数のピッチシフトしたサンプルを含む干渉
- C** フィルタースイープやディレイを含む干渉
- D** ビットクラッシュやより過激なサンプルの制御を適用

Note: Mixが100%だとエフェクトはドライ信号をミュートし、真に"干渉"します。



**ARP** : 直近のノートのオンセットをサンプルし、アルペジオでシーケンスさせる

Activity: アルペジオのステップ数

- A** 貴方の最も直近のプレイからサンプリングされる、ベーシックなアルペジオ
- B** 複数の再生速度変更を含むアルペジオ。ピッチシフトされたパターンへ。
- C** アルペジオの各サンプルにランダムなフィルターを適用。
- D** アルペジオにビットクラッシュを適用し、より複雑なトーンへ。

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



**PATTERN**: ディレイタップを4つの異なるリズムパターンへ変換

Activity: 有効なディレイタップの数

A

パターン1: 馴染み深いリニアディレイ

B

パターン2

C

パターン3

D

パターン4



**WARP**: フィルターとピッチシフトで制御されるディレイタップ。  
テクスチャ的なエフェクトに。

Activity: 有効なディレイタップの数

A

各ディレイタップにエンベロープで制御されるフィルターを適用

B

各ディレイタップにレゾナンスバンドパスフィルターを適用

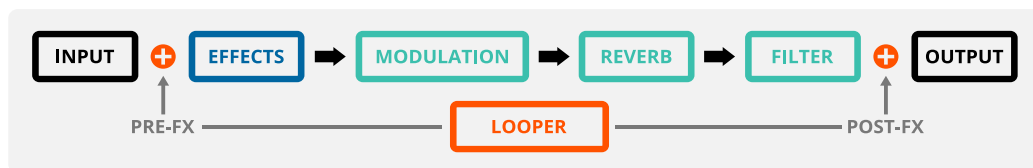
C

ディレイタップにピッチシフトを適用

D

倍速のスピードでクロスフェードするディレイタップ

## 4 | EFFECTS & SIGNAL PATH CONT.



### PITCH MODULATION

僅かなコーラスからドラマチックなデチューンの揺れまでエフェクトにピッチモジュレーションを発生させます。モジュレーションのデプスとレートはセカンダリ機能のMOD DEPTHとMOD RATEで決定します。



### STEREO REVERB

SHIFT + Reverb Timeで4つのステレオリバーモード (A-D)を切り替えます。



(A) Bright Room (B) Dark Medium  
(C) Large Hall (D) Ambient



### FILTER

Microcosmはエフェクトチェーンの最終段にローパスフィルターを搭載しています。100%時計回しでフィルターをバイパス、左に回していくと高域をカットしていき100%反時計回しでサウンドをミュートします。セカンダリ機能でフィルターのレゾナンスを制御できます。

\*Note: これらの設定は電源オンオフ後も維持されます。

## 5 | HOLD SAMPLER



Hold Samplerは直近の演奏をキャプチャーし持続させます、ホールドされたサンプルはパラメーターを変更しても持続します。

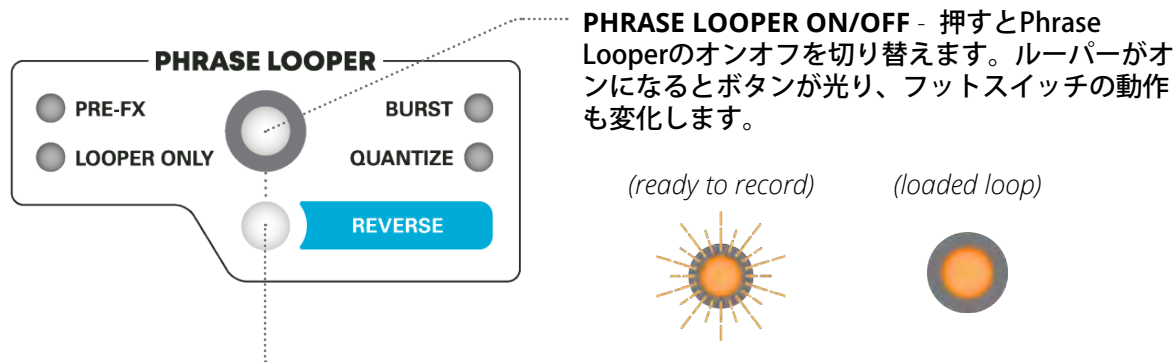
サンプリングされた素材はエフェクトへ継続的にフィードバックされます。そのためキャプチャーした素材をエフェクトで動的に処理が可能になっています。またドライ信号を加えると、持続するテクスチャーの上に演奏を加えることができます。

Hold Samplerはラッチまたはモーメンタリー動作を切り替えられます (Global Configuration参照)。

\*Note: Phrase Looperを起動するとすべてのHold Samplerの素材を消去します。Phrase Looperがオンの場合はHold Sampler機能は使用できません。

## 6 | PHRASE LOOPER

Phrase Looperを使用して、最大60秒の演奏を録音/再生が可能です。またループ再生中に無限にオーバーダブもでき、更にオーバーダブをクリアするアンドゥ機能で最初のフレーズに戻ることも出来ます。ルーパーは設定オプションを組み合わせることで好みにカスタマイズが可能です。ループはユーザープリセットへ保存し、呼び出すことも出来ます。



**PHRASE LOOPER ON/OFF** - 押すとPhrase Looperのオンオフを切り替えます。ルーパーがオンになるとボタンが光り、フットスイッチの動作も変化します。

**REVERSE** - 録音した素材を逆再生します。最初のフレーズを録音中に逆再生がオンになっている場合は、再生時にリバースします。

オンにすると光が点滅し録音を待機状態になることを表します。光の点灯はルーパー内に素材が保存されていることを表します。

**\*長押しでルーパーの設定モードに入ります。**

### DEFAULT LOOPER FUNCTIONALITY

Phrase Looperがオンのとき、左と右のスイッチでオーディオの録音、再生、停止、消去を行えます。

**RECORDING A PHRASE** : 左フットスイッチを押すとフレーズの録音を開始します。ライトが赤で光りオーディオがキャプチャーされます。左フットスイッチをもう一度押すとループを閉じ再生を開始します。ライトが緑で光りフレーズが再生されます。

*\*Note: 最初のフレーズの最大の録音可能秒数は60秒です。最後の5秒間は警告のためPhrase Looperのボタンが点滅します。*

**OVERDUB LAYER** : オーバーダブレイヤーを追加することで、ループの上にフレーズを無限に重ねることが出来ます。ループを再生中に左フットスイッチを押すとオーバーダブを開始（ライトが黄で光ります）します。左フットスイッチをもう一度押すと通常の再生に戻ります。

**UNDO OVERDUB LAYER** : 左フットスイッチをホールドすると、最初のフレーズを保ちつつすべてのオーバーダブレイヤーを消去します（ライトが黄色で点滅します）。

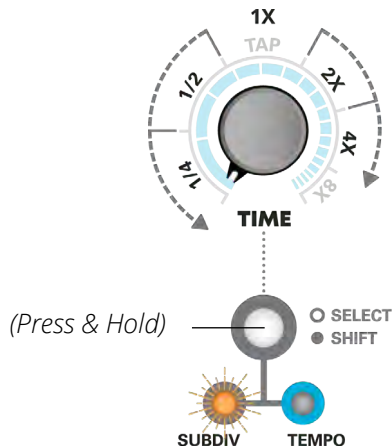
**STOP/ERASE LOOP** : 右フットスイッチを押すとループ再生を停止します。このとき再生は停止していますがループは残っており、左フットスイッチで再生を開始します。

録音したフレーズを完全に消去したい場合は、右フットスイッチをホールドします。ライトが赤と緑で点滅し、メモリーからフレーズが完全に消去されます。

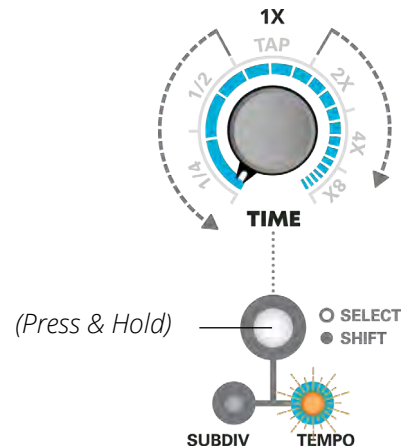
## 6 | PHRASE LOOPER CONTINUED

### LOOPER PLAYBACK SPEED

ルーパーの再生スピードはShiftをホールドしながらTimeノブで変更できます。



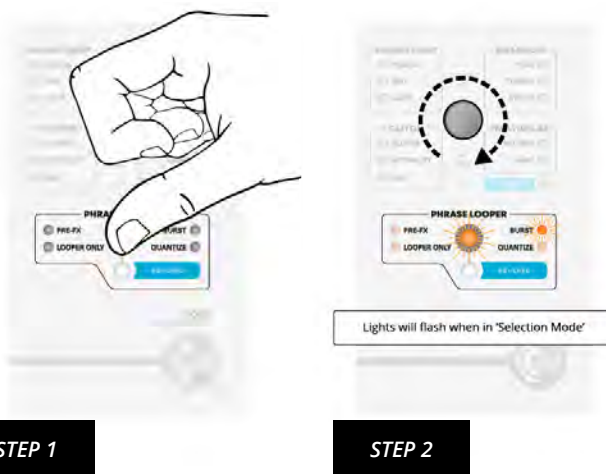
Subdivを選択しているとき、スケールで分割された再生スピードを切り替えます。



Tempoを選択しているとき、1/4から4倍までスムーズに切り替わるスピード変更となります。

*\*Note:* | どちらのモードでも、"TAP" (1x) では元々の再生スピードへ戻ります。最大の再生スピードは4倍です。

### ADDITIONAL PHRASE LOOPER CONFIGURATION



STEP 1

STEP 2

(1) Phrase Looperにはルーパーの挙動を変更するオプションがいくつか搭載されています。これらにアクセスするにはPhrase Looperボタンをホールドします。

(2) Phrase Looper内のオレンジのカーソルが点滅します。Preset Selectorを回して設定をスクロールし、押ししてオプションのオンオフを切り替えます。

**Phrase Looperボタンをもう一度ホールドすると、設定モードを終了します。**

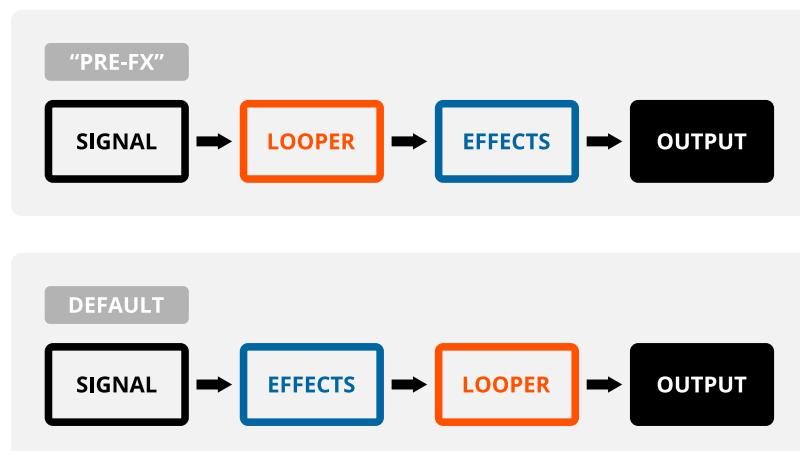
これらの設定はユーザープリセットに保存され、ペダルの電源オンオフ後も維持されます。

**\*ルーパー設定はルーパーの再生へ干渉すること無く、いつでも切り替えられます。\***

## 6 | PHRASE LOOPER CONTINUED

### PRE-FX

Pre-FXが選択されていると、Phrase Looperはエフェクトの前に配置されます。つまり録音された素材はすべてエフェクトを通過するようになり、楽器入力のように扱われます。これにより録音素材を変更すること無く、フレーズの制御が可能になります。



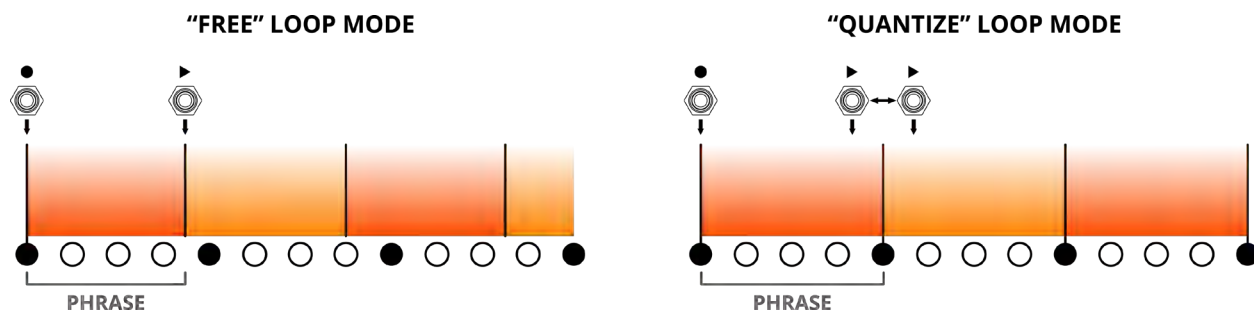
デフォルトではMicrocosmのエフェクトを録音するためルーパーはPost-FXになっています。

*Tip:* 2つのルーティングオプションで実験してみよう。デフォルトのPost-FXでエフェクトを録音したら、そのループを更にエフェクトへ送ってみよう。2つのオプションは非常に異なる結果を生みます。ルーティングオプションはユーザープリセットへ保存されます。

### QUANTIZE

クオンタイズはループをエフェクトセクションのテンポと同期させます。異空間の複雑なコンポジション、シンクを保ちつつリズム要素のシーケンスやインターロックをレイヤー状に重ねていくことが可能です。

Phrase LooperがQuantizeに設定されていると、Microcosmはループをトリミングし、エフェクトのテンポにビートシンクさせます。録音を開始する前にエフェクトのテンポを設定する必要があります。Phrase Looperの録音を開始すると、エフェクトとルーパーの開始点が同期されます。ループの録音を終了すると、Microcosmはループの長さを最も近い4分音符へ縮めて、ループをトリミングします。



*\*Note:* eQuantizeモードが有効なときでもエフェクトのサブディビジョンは自由に変更が可能です。全体のテンポが変更されるとエフェクトとループの動機が解除されます。プリセットを切り替えると全体のテンポはクオンタイズされたループのテンポへリセットされ、エフェクトとループのテンポが再度同期されます。

## 6 | PHRASE LOOPER CONTINUED

### BURST

Burstは素早く単体のレイヤーのループの創作を可能にします。Burstモードでは左フットスイッチをホールド時にのみループが録音され、離すと即座に再生を開始します。もう一度ホールドするとフレーズをすぐに消去し、新しいオーディオをキャプチャーし始めます。

この設定ではオーバーダブは無効ですが、録音と再生に素早いオペレーションを可能にし、クリエイティブなパフォーマンスに有効です。

\*Burstモードで録音されたフレーズは、録音後にBurstを解除しない限りユーザープリセットには保存されません。

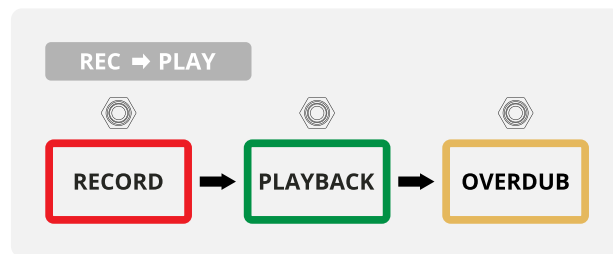
### LOOPER ONLY

Looper Onlyモードはエフェクトをミュートし、Microcosmを馴染み深い一般的なルーパーとして使用できます。

\*ピッチモジュレーション、リバーブ、フィルターは引き続き有効です。Mixでこれらをブレンドすることが出来ます。

### LOOPER ORDER OF OPERATION

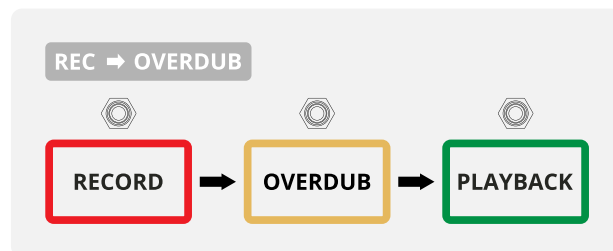
Microcosmはループの録音へ2つのワークフローを提供します。Global Configurationの中で設定します。



#### RECORD > PLAY > OVERDUB (default)

デフォルトの順番は以下です。

- 左フットスイッチを押して録音を開始
- もう一度押すとループを閉じて再生を開始
- もう一度押すとオーバーダブを開始



#### RECORD > OVERDUB > PLAY

このオプションではループを閉じるとともに即座に素材のオーバーダブを行います。

左フットスイッチをもう一度押すと通常の再生へ戻ります。

## 7 | SAVING PRESETS

気に入ったサウンドが見つかったら、設定を保存して後で呼び出すことができます。

ユーザープリセットは4つのバンク（赤、黄、緑、青）に4つずつ、合計16個の-slotがあります。ユーザープリセットはその時有効な設定やループをすべて保存します。オーバーダブは一つのループへ"ミックスダウン"され、今後のパフォーマンスではその上にオーバーダブを行えます。

Global Configurationの設定はユーザープリセットへ保存されません。

現在の設定を保存するには以下のステップに従ってください:

### STEP 1



(1) ライトが青で点滅するまでPreset Selectorをホールドします。これで貴方の録音されたフレーズや設定がコピーされます。

### STEP 2



(2) Cカーソルが点滅し、素材がコピーされていることを表します。目的のユーザープリセットスロットまで回し、Selectorをもう一度ホールドするとプリセットを保存します。

保存をキャンセルし通常の動作に戻るにはPreset Selectorを押します。

### STEP 3



(3) ライトが青で点滅し設定が保存されたことを表します。ライトの点滅が終わると、現在のペダルの全てのパラメーターや録音されたフレーズが全て保存されます。

\*Note: 長い録音は短いループより保存の時間が長くなります。

## 7 | SAVING PRESETS CONTINUED

### LOADING USER PRESETS

ユーザープリセットには4つの色分けされたバンク（赤、黄、緑、青）にそれぞれ16のスロットがあります。エフェクトセクションの最後、Userと書かれたバンクまでスクロールすることで選択します。目的のスロットまでスクロールすると、保存したパラメーターや録音した素材を呼び出します。

*\*Note: ノブの位置と実際のプリセットを保存した設定は異なります。ユーザープリセットは保存された状態のパラメーターを維持します。ノブを回してパラメーターを変更すると設定がアップデートされ現在のノブの位置へ対応します。*

### PREVIEWING & OVERWRITING USER PRESETS

#### PREVIEW USER PRESETS

ユーザープリセットを新しい素材で上書きする前に、何が入ってるかプレビューしたいと思うでしょう。設定がコピーされているとき(step1を参照)ペダルは動作しプリセットを呼び出し可能です。これで保存したループのサンプル、またはコピーしたエフェクトで上書きする前に保存したエフェクトをテストが出来ます。

#### OVERWRITE PRESET / SAVE IN PLACE

選択したユーザースロットが保存時に使用されていたとき、新しい設定で上書きされ以前の素材と入れ替わります。同様に、ユーザープリセットへの変更は、設定をコピーして同じスロットに保存することで、その場へ保存できます。

### COPYING LOOPS

保存したループを、他のエフェクトを使って実験したいときもあるでしょう。この場合ユーザープリセット内のループをエフェクトセクションへ戻すことが出来ます。これを行うには、プリセットを保存するときと同じ手順に従ってください。

転送したいループを含むユーザープリセットを選択します。Preset Selectorをホールドし、ライトが点滅するまで待ちます。これによりループがコピーされたことを示します。ユーザーバンクから移動し目的のエフェクトを選択したら、再度セレクターをホールドします。ライトが点滅し、止まるとエフェクトセクション内でループの再生が可能になります。

*\*Note: ユーザープリセットがライブのエフェクトセクションには転送されません。また転送されたループは保存時のループを上書きします。*

## 8 | MIDI





### CONTROL CHANGE

MicrocosmはMIDI CCメッセージで制御が可能です。

Function	MIDI Msg.	Range
Subdiv	CC #5	(0)=1/4, (1)=1/2, (2)=TAP, (3)=2x, (4)=4x, (5)=8x
Activity	CC #6	0-127
Shape	CC #7	0-31 □, 32-63 ▲, 64-95 △, 96-127 ▽
Filter	CC #8	0-127
Mix	CC #9	0-127
Time	CC #10	0-127
Repeats	CC #11	0-127
Space	CC #12	0-127
Loop Level	CC #13	0-127
Mod Freq.	CC #14	0-127
Filter Resonance	CC #15	0-127
Effect Volume	CC #16	0-127
Looper Playback Speed	CC #17	0-127
Looper Playback (Stepped)	CC #18	(0)=1/4, (1)=1/2, (2)=TAP, (3)=2x, (4)=4x, (5)=8x
Mod Depth	CC #19	0-127
Reverb Time	CC #20	0-127
Looper Fade Time	CC #21	0-127
Looper On / Off	CC #22	Off: 0-63, On: 64-127
Looper Playback Dir.	CC #23	Fwd: 0-63, Reverse: 64-127
Looper Routing	CC #24	Post-FX: 0-63, Pre-FX: 64-127
Looper Only	CC #25	Looper & Effects: 0-63, Looper Only: 64-127
Looper Burst	CC #26	Default: 0-63, Burst: 64-127
Looper Quantized	CC #27	Free: 0-63, Quantize: 64-127
Looper Record	CC #28	0-127
Looper Play	CC #29	0-127
Looper Overdub	CC #30	0-127
Looper Stop	CC #31	0-127
Looper Erase	CC #34	0-127
Looper Undo	CC #35	0-127
Copy Preset	CC #45	0-127
Save Preset	CC #46	0-127
Reverse Effect	CC #47	0-127
Hold Sampler	CC #48	Off: 0-63, On: 64-127
TAP Tempo	CC #93	0-127
Bypass	CC #102	0-63 bypass, 64-127 engage

## PROGRAM CHANGE / PRESET CHART

MIDI PCメッセージを送ると、44のエフェクトと16のユーザープリセットを自由に切り替えることができます。

Program Change	Effect Preset	
PC #1-4	ARP - (A-D)	
PC #5-8	INTERRUPT - (A-D)	
PC #9-12	BLOCKS - (A-D)	
PC #13-16	GLIDE - (A-D)	
PC #17-20	SEQ - (A-D)	
PC #21-24	MOSAIC - (A-D)	
PC #25-28	HAZE - (A-D)	
PC #29-32	TUNNEL - (A-D)	
PC #33-36	STRUM - (A-D)	
PC #37-40	PATTERN - (A-D)	
PC #41-44	WARP - (A-D)	
PC #45-48	USER BANK 1 - (A-D)	
PC #49-52	USER BANK 2 - (A-D)	
PC #53-56	USER BANK 3 - (A-D)	
PC #57-60	USER BANK 4 - (A-D)	

## CLOCK

MicrocosmはMIDIクロック信号をMIDI INジャックより受け取ります。MIDI Startメッセージを受け取ると、内部クロックから外部クロック信号に追従するよう切り替わります。MIDI Stopを受け取ると内部クロックへ戻ります。外部クロックへ追従時はタップテンポは無効になります。またMicrocosmはMIDIクロック信号をMIDI OUTジャックから送信できます。

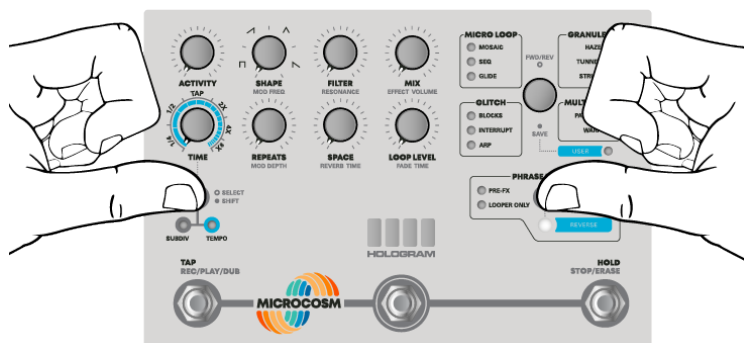
## THRU

MicrocosmはデフォルトでMIDI INから受け取った全てのメッセージをMIDI OUTへスルーします。そのため他のデバイスがある際でも単一のMIDIソースから直列で繋ぐことができます。MicrocosmはデフォルトでMIDIチャンネル1に設定されているため、MIDI OUT/THRUに接続されたデバイスは他のチャンネルに追従するよう設定が必要です。またMicrocosmのMIDIチャンネルはGlobal Configurationで設定ができます。

## 9 | GLOBAL CONFIGURATION

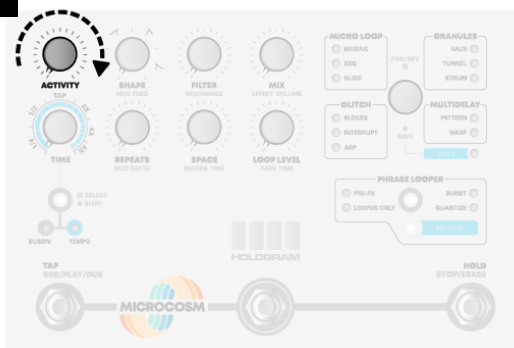
Global ConfigurationはMicrocosmの挙動を必要に応じて設定出来ます。このモードでは8つのノブは特定の設定メニューに対応します (p23のチャートを参照ください)。

### STEP 1



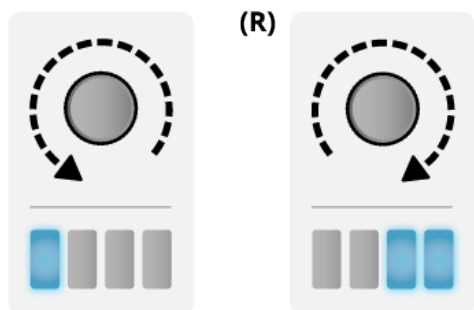
(1) Global Configurationに入るにはShiftとPhrase Looperをライトが点滅するまで、同時に2秒ホールドします。ライトのアニメーションが始まりGlobalモードに入ったことを表します。

### STEP 2



(2) Global Configurationでは、ノブが特定の設定メニューに対応します。ノブを回すと対応する設定が変更されます (step2と3の例では、Activityノブを回してinput modeの設定が行われています)。

### STEP 3



(3) Preset Selectorを使ってオプションをスクロールし、押してオプションを選択します。カーソルが白く光り、設定をメモリーへ保存します。

\*Global Configurationを終了するにはBypassを押すか、ShiftとPhrase Looperをホールドしてください。

Global Configurationで行われた変更は、電源オンオフ後も維持されます。新しいメニューを選ぶには対応するノブを回してください。

## 9 | GLOBAL CONFIGURATION CONT.

### CONFIGURATION MODE MENUS

Control <i>(Step 2 - bノブを回してコントロール)</i>	Menu <i>Preset Selectorを回して設定</i>	Factory Settings <i>これらはペダル出荷時の設定です。</i>
1. Activity 2. Shape 3. Filter 4. Mix 5. Time 6. Repeats 7. Space 8. Loop Level	Input Mode Looper Shape MIDI Thru / Clock Input Level MIDI Channel Hold Style Bypass Style Looper Operation	Mono Input Fade In / Out Send Internal Clock, Transmit MIDI Thru Instrument Level MIDI Channel 1 Toggle Buffered Bypass, No Trails Rec > Play > Overdub

#### 1 | INPUT MODE *(Activity knob)*

Indicator	Configuration
	モノラル
	ステレオ

#### 4 | INPUT LEVEL *(Mix knob)*

Indicator	Configuration
	インストゥルメントレベル
	ラインレベル

#### 2 | LOOPER SHAPE *(Shape knob)*

Indicator	Configuration
	フェードイン/アウト
	フェードインのみ
	フェードアウトのみ

#### 5 | MIDI CHANNEL *(Time knob)*

Indicators	Channels
	チャンネル1-4
	チャンネル5-8
	チャンネル9-12
	チャンネル 13-16

#### 3 | MIDI THRU / CLOCK *(Filter knob)*

Indicator	Configuration
	内部クロックとMIDI Thruを送信
	内部クロックを送信せず、MIDI Thruは送信
	内部クロックを送信、MIDI Thruしない
	内部クロックとMIDI Thruを送信しない

#### 6 | HOLD STYLE *(Repeats knob)*

Indicator	Configuration
	ラッチ
	モーメンタリー

## 9 | GLOBAL CONFIGURATION CONT.

### 7 | BYPASS STYLE (Space knob)

Indicator	Configuration
■□□□	バッファード、トレイルなし
□■□□	バッファード、トレイルあり
□□■□	トゥルーバイパス

### 8 | LOOPER OPERATION (Loop Level knob)

Indicator	Order
■□□□	録音 > 再生 > オーバーダブ
□■□□	録音 > オーバーダブ > 再生

### SCROLL DIRECTION

Preset Selectorはエフェクトをサイクルするか、リスト形式で下がっていくかを選べます。

スクロール方向を変えるには

- (1) *Global Configuration*に入ります。
- (2) *Preset Selector*を素早く3回押します。ライトがスクロール方向に動きます。もう一度3回押すとスクロール方法を切り替えます。
- (3) *Global Configuration*を終了します。この設定は電源オンオフ後も保持されます。

### RESET GLOBAL SETTINGS

グローバル設定をリセットしたい場合は、Phrase LooperとReverseボタンを3秒ホールドします。

ライトが黄色で点滅し出荷時設定に戻ったことを表します。全てのループとプリセットは維持されますが、グローバル設定はリセットされます。

### COMPLETE FACTORY RESET

Global Configurationから完全なファクトリーリセットも可能です。全てのユーザープリセットバンクとループを消去し、グローバルパラメーターをデフォルトへ戻します。



キャンセルするにはLEDアニメーションの際に中央のスイッチを押します。

(1) 完全なリセットを行うには、*Shift*, *Phrase Looper*, *Reverse*ボタンを2秒ホールドします。ライトが光りリセットを表します。

(2) *Preset Selector*を押して決定します。リセット中は電源を抜かないでください。

(3) *Microcosm*が再起動し全ての設定をリセットします。

## 10 | WARRANTY

Hologram Electronics warrants your product to be free from physical defects in material and workmanship for a period of 1 year from the date of the original retail purchase. If you discover a defect covered by this warranty, we will repair or replace the product.

### ***Not Covered by this Warranty:***

This warranty covers manufacturing defects that arise from the correct use of this device. It is limited to defects in materials or workmanship and does not cover damage caused by unauthorized modification, abuse, lightning or power surge damage. The warranty does not cover the normal wear and tear of graphics, knobs, or enclosures.

To request a **repair**, please email [repairs@hologramelectronics.com](mailto:repairs@hologramelectronics.com).

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications could void your authority to operate the equipment under FCC rules.

© 2020 Hologram Electronics

